

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	竹中 健
連絡先メールアドレス	ken@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	教授
所属	看護福祉学部 社会福祉学科
略歴	<p>[学歴]</p> <p>東京外国語大学 欧米第一課程 ドイツ語専攻卒業 北海道大学大学院 文学研究科 行動科学専攻 修士課程修了 北海道大学大学院 文学研究科 人間システム科学専攻 博士後期課程修了</p> <p>[職歴]</p> <p>北海道大学 文学研究科 専門研究員 広島国際学院大学 情報文化学部 現代社会学科 専任講師 九州看護福祉大学 看護福祉学部 社会福祉学科 教授 九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究所 精神保健学専攻 教授</p>
取得学位	博士（文学）（北海道大学）
担当科目	<p>社会調査法 社会調査演習／実習 医療福祉論 地域社会論 ボランティア論 ドイツ語Ⅰ・Ⅱ 社会福祉特講Ⅰ・Ⅱ 社会福祉特別演習Ⅰ・Ⅱ（ゼミナール） 卒業研究論文 ソーシャルネットワーク論（大学院）</p>
専門分野	社会福祉論・福祉社会学・医療社会学
所属学会	<p>ISA (International Sociological Association) EASN (East Asian Sociological Network) 日本社会福祉学会 日本社会学会 日本保健医療社会学会 日本社会学理論学会 関東社会学会 北海道社会学会 東北社会学会</p>
現在の研究テーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティア行為の定着および展開のための日加比較研究 2. 医療と福祉のボランティア：病める人・死にゆく人と寄り添う人の社会学 Sociology of the Better Dying 3. ジェンダー・マイノリティとジェンダー・マジョリティ：語りの交差

	4. 介護の社会化：介護者および被介護者の意味世界と生活世界
<p>教育研究業績 (著書・学術論文等)</p>	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 「ボランティア組織の独立性・自律性と継続可能性の考察」(単著) 2011年 北海道大学 (博士論文) 2, 「マイノリティのアイデンティティと他者」 2011年, 田村・細谷編著『大学生と語る性——インタビューから浮かび上がる現代セクシュアリティ』, 晃洋書房, [全文 217 頁中、担当：第Ⅱ部「大学生の語りを受けて」 195 頁-217 頁] 3. 「なぜスポーツクラブに通うのか——不健康というラベルに抗う人びとの調査から」 2012年, 井上芳保編著『健康不安と過剰医療の時代』, 長崎出版, [全文 300 頁中、担当：第 8 章：265 頁-300 頁] 4. 『ボランティアへのまなざし——病院ボランティア組織の展開可能性』 (単著) 2013年, 晃洋書房 5. 「政治・社会運動」 2014年, 櫻井他編著『アンビシャス 社会学』北海道大学出版会[全文 300 頁中担当：第 5 章「政治・社会運動」 79 頁-100 頁]
<p>教育研究業績 (著書・学術論文等)</p>	<p>(学術論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「従属のなかの自律——病院ボランティアの対抗」(単著) 2006年, 『現代社会学研究』 19号, 北海道社会学会 [査読有] 2 「ボランティアというハビトゥスー札幌市の病院ボランティアの事例から」 (単著) 2006年, 『西日本社会学会年報』 5号, 西日本社会学会 [査読有] 3 「病院ボランティア組織の展開可能性」(単著) 2010年, 『現代社会学研究』 23号, 北海道社会学会 [査読有] 4 “Why Japan’s Hospital Volunteer Program Has Failed: Civil Society or Mobilization?” (単著) 2014年, "Bulletin of Hiroshima Kokusai Gakuin University" Vol47 [査読有] 5 「ケアワークとボランティア：ケアにかかわる領域はどのように専門職化するのか？」(単著) 2015年, 『広島国際学院大学研究報告』第 47 巻 [査読有] <p>(報告書等)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「野幌のお神楽と生活——なぜ野幌の人びとは太々神楽を残そうとするのか」, 2002年, 中澤・高橋編著『野幌とはどのような場所か——その生活史と地区形成』(分担執筆：pp.49-53), 札幌学院大学社会情報学部 2 「病院ボランティアと生涯学習——動員か？自発か？導かれたボランティアの行方」, 2003年, 小林甫研究代表, 『変革期における《ライフロング・ラーニング》の社会的意味と社会的役割』平成 12～14 年度科学研究費補助金基盤研究 (A) (1)研究成果報告書 3 『大麻地区商店街の形成と課題』, 2006年, 石井・工藤・竹中編 (分担執筆), 札幌学院大学社会情報学部

	<p>4 「井仁の歴史とくらし：地域のくらしは、誰がどのように守るのか？」,2015年,『井仁棚田から眺めると』(分担執筆),広島国際学院大学 情報文化学部 現代社会学科</p> <p>5 「誰が棚田を守るのか？」,2016年,『安芸太田を歩く』(分担執筆),広島国際学院大学 情報文化学部 現代社会学科</p> <p>6 「棚田のある未来」,2017年,『安芸太田を知る』(分担執筆),広島国際学院大学 情報文化学部 現代社会学科</p>
社会活動・社会貢献	<p>市立札幌病院 ボランティア (2002年～2014年)</p> <p>東北社会学会 選挙管理委員 (2010年7月～8月)</p> <p>日本保健医療社会学会 査読担当 (2015年～2016年)</p> <p>国際交流委員会 (2017年～現在)</p> <p>日本社会学理論学会 査読担当 (2016年～2017年)</p> <p>日本社会福祉学会 査読担当 (2017年)</p> <p>北海道社会学会 査読担当 (2017年～現在)</p>